

1 題材名 「見え方や感じ方が違うときには…」

2 生徒の実態と個別目標

氏名	題材における実態	題材における目標
A	同級生と関わることに不安があり、長欠傾向にある。自分の話したいことが優先になり、相手の話を遮ってしまう。	人によって様々な感じ方があることを知ることができる。【6-(1)】
B	コミュニケーションの中で、客観的な視点をもつことが難しい。	誤解が生まれる原因や状況を知り、特定の場面での適切な言葉のかけ方を知ることができる。【6-(2)】
C	時折、自分の考えに固執し、力を誇示して言葉が攻撃的になることがある。	相手の考えを認め、困った場面でどう振る舞うべきかを考えることができる。【6-(2)】

3 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標 人によって考え方や感じ方は様々であることを知ることができる。

イ 個別目標

A：人によって様々な感じ方があることを理解できる。【6-(1)】

B：誤解が生まれる原因や状況を知ることができる。【6-(2)】

C：相手の考えが自分の考えと異なっていた時に、相手の考えを認めることができる。【6-(2)】

(2) 準備・資料 だまし絵、絵カード、ワークシート

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価（◎評価）			
	全 体	A	B	C
1 本時の課題を確認する。	・ 本時の課題と流れを確認し、見通しがもてるようにする。			
見え方や感じ方が違うときに、同級生との関わりの中でどんなことが起こるのだろう。				
2 だまし絵を見て、どんな形に見えるかについて話し合う。	・ 全員が発表できる場を作る。 ◎ 人によって考え方や感じ方は様々であることを知ることができる。 (発表、ワークシート)	・ Aの弦きを聞いて、その考えを教師が代わって他の生徒に伝えるようにする。 ◎ 人によって様々な感じ方があることを理解できる。 (発表、ワークシート)	・ 自分の意見を相手に共有する楽しさが感じられるように支援する。	・ 聞く態度が作れるように声かけする。 ◎ 相手の考えが自分の考えと異なっていた時に、相手の考えを認めることができる。 (発表、ワークシート)
3 絵カードの状況を登場人物の気持ちになって考える。 ① SNSで数時間返信が来ない場面 ② 階段でぶつかりそうな場面 ③ 3年生を送る会の準備の場面	・ 生徒が困っていた場面を扱う。 ・ 状況や登場人物を変更し、場面を客観的に捉えられるようにする。	・ 場面の状況を考えられるように助言する。	・ 場面の状況を考えられるように助言する。 ◎ 誤解が生まれる原因や状況を知ることができる。 (発表、ワークシート)	・ 登場人物の気持ちを複数パターン考えられるように問いかける。
4 本時の振り返りと、次時の確認をする。	・ 次回は言葉のかけ方の内容を考えることを伝え、見通しがもてるようにする。			